

様々な思考力の元になる「論理エンジン」とは？

スーパー・プレップ・スクール（以下SPS）では、いま最も求められている力として、『論理的思考力』を掲げています。そもそも『論理』とは何なのでしょう？ 受験における現代文や小論文のカリスマ講師である出口汪先生に話をうかがいました。



出口汪先生
でぐちひろし

SPSの現代文・小論文講師であり、出版社である株式会社水王舎社長。受験参考書やビジネス書など著書多数。

おとこ
例えば 男を？
論理的に考えるには●

A、B、C、D君がいて、共通点を見つける。

→具体的事例から、
一般化されたものが「男」

何が男性と認知されているのかを考える。
ただ、漢字を覚えた、書けた、ではない。

物事を覚えるためにも
論理的なステップが必要

「いままで求められてきた学力と、これから求められている学力は変わりつつあります。頭のいい子という概念自体が変わってきているのではないのでしょうか」
そう語るのは、長年多くの受験生を見守り、現代文や小論文に関する著書も多数出版しているSPSの出口汪先生。その理由をうかがいました。
「従来の後発型の学習で必要だったものは『追いつくこと』。だから学習の中心は記憶することで、ひたすらテストのために暗記すればよかったのです。しかし、いま求められている先進的な教育には、暗記だけでは太刀打ちできません。必要なのは『論理力』だといえます」

例えば、普段使い慣れている日本語でも、日常会話の中で筋道を立てる論理力は必要とされます。文章読解学習を論理的にシステム化したものが、出口汪先生の『論理エンジン』なのです。

「たとえば、何かを覚える際にも何かと関連づけたほうが覚えやすい。『男』という漢字を何も知らない子どもにただ覚えなさい、といっても覚えることは難しいでしょう。子どものときに、抽象的な言語を理解もできないのに詰め込まれ、国語が嫌になってしまふことはよくあることです。そうならないために、関連づけて、使ってみて、理解する、というステップを踏んで、覚えていくのです。記憶、模写、反復もある時期必要なことなのですが、それだけでは本当に必要なとされる学力は伸びません」

記憶力と他者意識で
論理的思考力を鍛えていく

では、その論理力はどうのようにして学べばいいのでしょうか。
「日本語の規則を知ること、論理とは何かを学ぶことができる。まずは文章がどのような構成でできているのかを学び、そして、文と文、文章のつながり、関係性を知ります。言葉を扱う規則を覚えることが、論理力を養うといえるでしょう」

また一方で、論理力に必要なものとして、記憶力と他者意識を挙げます。
「何事も無から学習することは難しいので、暗記する、記憶する、というの必要です。しかし、それがすべてではない。理解するために記憶して、記憶されていることを論理的に説明できるようにする、ということが重要なことです。つまり、国語に必要な語彙力も論理力と表裏一体なのです。ただ詰め込みだけを行ってしまつては、反射的に拒否反応を起こすかもしれません。また、他者に説明する際に、筋道を立てなければいけない。これは他者とコミュニケーション

論理エンジン 例題

次の文章を読んで、空欄に当てはまるものを①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。

私たちは日常身近にある何気ないものに、たえずメッセージを受け取ったりしています。
朝の小鳥のさえずりに楽しい一日の（ ）を読みとったりすることがあります。

- ①予告 ②予感 ③予定
④報告 ⑤報知

例題解説

解答 ① 予告

考え方 1 主語、述語の関係がポイント！
「読み取る」の主語は「私たち」
→私たちが（ ）を読みとる

考え方 2 一文の構造を理解！
（私たちは）朝の小鳥のさえずりに、（小鳥が）楽しい一日を（ ）しているのを読みとる。

「予告」が答え

ンできるか、という社会性にもつながり、他者との関係を築き上げることに、論理は必要となつてきます。自分と違う人間、自分と違う発想を持っている、ということを知るためには、遊びや集団の中で培っていくのが一番です」
また『論理力』を身につけることは10歳でも難しいことではないといえます。「論理力の元は他者への意識だと思つていきます。自分以外のものを意識することによって、そこから様々なものを関連づけさせることができるようになる。そういった力を養うためにも、外に出て、たくさんの人・物と会うことが大切なのです」

「10歳」というキーワードを考えると、確かに言葉の処理能力には個人差があると言います。特に10歳までとなると早く習得する子どももいれば、遅い子どももいて当然。しかし、それはあくまで個性であり、後に伸びる準備をしておく必要があると先生は強調します。
「勉強だけを行うのではなく、社会性を身につけて、外で遊ぶことも論理力には大切です。中学受験で他を犠牲にするのではなく、勉強も楽しませることで、初期の個人差は解消され、10歳以後でも能力が伸びていく可能性も充分にあります。まずは記憶を詰め込み過ぎず、言語を習得するツールとしても、論理的思考力を上げておくことをおすすめします」